

タットン会 通信

2013.
8. 24

タットン会ホームページ **タットン会** と入力すると検索でき、会の趣旨や開催日時などが確認できます。また、「ボランティアセンター 046 (825) 0017」で、日程を確認することもできます。

※ 活動中などの写真掲載等をご辞退なさる方は、事務局員にお申し出ください！(事務局は青バッチです)
 (7/27の参加費は4,800円 募金は1,150円 義援金は998円でした。 参加者総数は60名弱でした。)



7月27日、どんよりとした天気でしたが体育館の中はムンムンと蒸し暑く。そんな中、124回目のタットン会は平野・足立さん（写真左）をチーフに行われました。

今年も夏の「市民活動ボランティア体験」の登録をさせていただきました。すると、～中学生・高校生・大学生・親子（小学5年生）の計13名の方々（写真下）がチラシを見て参加してくださり、60名弱の皆さんで暑い中、さらに熱～く楽しみました。

県大生は、試験期間中にもかかわらず準備から最後のミーティングまでお付き合いください～本当に感謝しています。おかげさまで素敵なお汗を流せました！

先日、社会福祉協議会から10年継続ボランティアでいただいた賞状は、HSCサークルの部室に飾っていただくことになりました（写真左、賞状をもつ県大HSC代表の井口君）。



初参加の方々には、いつも最後に皆様の前で感想をお願いしています！

チーフからのコメント

タットンに参加させていただいて早1年が経ちましたが、今回初めてチーフ&余暇コメントをさせて頂きました。普段は何気なくやっていたことも、チーフになってみたら「あれ？次はどうするんだっけ？・」と焦ってばかりでした。サブチーフの平野さんや県大の先輩方に助けて頂きながら無事チーフを成し遂げることができました。今回チーフをやらせて頂き、今まで先輩方に頼ってばかりだったことに気づかされました。これから先輩方は実習等で来られなくなると思うので、2年生が中心となって頑張っていこうと思います(^^)

2年生一緒に頑張りましょう o(^o^)o

県立大学2年 足立望

感想・参加者カード・気がついたこと！！！ チャレンジャーさん 16名参加

- ※1 バドミントンは最高46回ラリーが続きました。私がもっと上手かったら50回以上できたはずです。1年8ヶ月ぶりにペアを組みましたが、いつも通りのポーカーフェイスで良かったです。（E様）
- ※2 …とても集中して取り組まれていました。ラケットを二人分用意して待ってたり～とても意欲的です。…以前より長い時間取り組んでいて驚きました。…（K様）
- ※3 …僕よりも強くて～何回も転んだり空振りをしました。…僕自身が初めて参加しましたが、楽しかったし、楽しんで貰えたようです。今日は、ありがとう。（I様）
- ※4 …上から打つ練習もして、たくさん続いて楽しかったです。アドバイスをすると「はい」って返事をしてくれて、「今の上手かったよ」って言うと笑顔で喜んでくれました…。（A様）
- ※5 サーブから始めてのラリー、今日は落ち着いて16回！！すご～い、時にバック、そしてスマッシュ。ホ

余暇活動

は一度もなく、集中して出来ました。



5年ぶり2回目の投稿の木崎です。訳あって2年前に脱サラして、今は都内の大学院に通っています。つい最近までイタリアのヴェネツィアに留学していました。留学中にもボランティア活動をしようかと思いましたが、言葉の壁もあり、なかなか見つからず、唯一日本語を学んでいる現地学生の勉強のサポートなどをしていました。

私が滞在していたヴェネツィアは、お世辞にも障がい者にやさしい街とは言えず、川と橋ばかりで旅行客も多く、障がいのない人にとっても、街中の移動が大変でした。しかしそんな街でも、車いすの人や障がい者はよく見かけました。私が在籍していた大学や、住んでいた寮にも、障がいのある学生が数名いました。

彼ら／彼女らに対して、具体的にどのような支援がなされているのかはわかりません。しかし、見ていると誰かが寄り添って移動の援助をしたり、特に学生を見てみても、他の学生が付き添ったりしながらサポートをするなど、近しい人々で支えあっている様子が垣間見られました。

私も現地では「外国人」として苦労することも多く、周囲の人々に助けられたのを覚えています。国も環境も、またおそらく福祉の観念も異なる状況であっても、困っている人に助けが必要であることは一緒です。

そしてどこであれ、支えあいの根底には、人間同士のつながりが基盤としてあるのだと感じました。人と人が直接支えあうことの重要性を再び学んだ気がしました。

木崎浩一

身長も伸びて樂しみです。(K様)

ひと夏の体験

【施設見学】今年の夏は7つの施設にお邪魔させていただきました。その中の一つ「京急ウィズ」(以前私は2008年



NO 80

8月に、三日間の体験をさせていただきました。通信バックナンバー70号参照)でお世話になっている市立養護の卒業生Aさんの様子を少し紹介します。重複障がい者として初めて京急ウィズに受け入れられたAさん。何回かの実習を重ね、その実力を認めていただけた様子です。仕事内容はバスのデータ入力で、パソコンを打つその仕事っぷりは目を見張るものがありました。「今後、Aさんがよい事例になったら良いなあ～」と、担当者もおっしゃっていました。

また、汐入にある名刺つくりを主な仕事とする「ウイニング・ウインド」所長さんの「今後、多少の重複障がいがあつても受け入れていきたい！」との言葉をお聞きし、心温まる思いがしました。

【第36回 ふれあいキャンプ】8月10日～11日、鴨居コミュニティーセンターは猛暑の中でした。予定されていたオーディションは室内に変更するほど！でも、多くのチャレンジャーさん・ボランティアさんと寝食を共にすることで、実に多くのやさしさや運営側の厳しさ等を発見することができました。詳しくは、タットン会ホームページの掲示板にコメントを載せさせていただきましたのでご覧下さい！



シャワーチェアのまま露天風呂へ



昨年に引き続き「車いすの母親を温泉に！」と思い、今年もあれこれインターネットで探してみました。すると「露天風呂にスロープを設置し、シャワーチェアのまま湯船に(左写真)入れるペンション ガストホフ エール」を見つけました。(全国を探してもなかなかないので)早速予約をとるために電話をしてみると、なんとも優しいオーナーの声。昨年は、リフト付きの温泉旅館「はくら」(詳しくは 通信114号参照)を紹介させていただきましたが、今回はまさしく追い求めていたスロープ付きの宿。母親の笑顔は格別でした…オススメです！

《本日 8月24日の時程 チーフ 小河原》

- 9:30 ペア組(カード確認)・体操、各種目へ
- 10:20 休憩(数回とるかも知れません)
- 10:35 後半の部
- 11:05 パラシュート・片づけ・モップ、感想カード記入
- 11:20 手話コーナー・けがの確認・感想
- 11:40 解散(時間は多少前後します)

お知らせ

今年度、県立保健福祉大学HSCクラブが「神奈川心身障害者福祉基金財団」より助成金を受けて活動しています。

障害児者卓球大会 神奈川県大会で、またまた優勝した井上君。



《2013年度の予定》

125回目 9/28 決定 10/12or19or26 11/16or23or30 12/7or14or21

2014年 1/18or25 2/8or15or22 3/15or22or29

文責 佐藤一雄